

プーチンの影武者は存在するのだろうか

高井 晋

プーチンは、3月18日、ロシア占領下のウクライナ東部ドンバス地方のマリウポリを訪問したという。マリウポリは、昨年3月から5月にかけてロシア軍による包囲戦で激しい戦闘が続き、徹底的に破壊された港湾都市である。このときプーチンは、ヘリコプターで到着後、自ら車を運転して市内を回り、ロシア当局による住宅街の再建を視察し、アゾフ海沿いの地域や中心部の劇場も訪れ、住民とも会話を交わし、その住宅にも立ち寄ったという。マリウポリを電撃訪問したのは、プーチンの影武者であったと専らの噂である。



<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20230320000348.html>

ロシア国営通信社がこの記事を削除したことが、かえって影武者だった可能性を裏付けている。

1960年に黒澤明が監督し世界的な話題となった映画「影武者」は、武田信玄が死亡したことを隠すために、盗みの罪で処刑寸前だった信玄とそっくりの男が信玄として仕立てられ、過酷な運命を生きる内容だった。西南戦争で約5万とも言われる政府軍が城山に総攻撃をかけ、指揮官の西郷隆盛は2発の銃弾を受けて倒れた。

西郷死亡の報告を受けた政府は、真贋を確かめるために西郷の顔見知りの軍人を薩摩に派遣した。西郷は写真を残さなかったので、政府軍の誰も西郷の顔を知らなかったからである。

西郷隆盛首実験之図



<https://bunka.nii.ac.jp/heritages/detail/165281>

写真が撮られる時代になっても、独裁者の影武者説は後を絶たない。

北朝鮮の独裁者金正恩は、大衆の前では暗殺を避けるために影武者が登場しているという。これまで激太りした時期や激痩せして登場したことがある金正恩は、掲載された画像を基に比較検討されて影武者説が取りざたされているが、その真贋は不明である。



https://www.excite.co.jp/news/article/DailyNK_Japan_142982/

独裁者プーチンは、ウクライナ戦争の戦況が一向に好転しないこともあって、暗殺やクーデターを警戒しているせいか、地下壕を含めて幾度も居場所を変えているので、「塹壕じいさん」と呼ばれているという。2022年7月にイランを訪問した際にも、歩き方がプーチンと異なっているとして影武者説がでた。

今回のマリウポリ電撃訪問に際しても、従来のプーチンと形状が異なっているように見える「耳」と「顎」に注目が集まっている。

プーチンの影武者説と共に、2015年以降のプーチンは替え玉であるという説もある。

30年間(1983年-2013年)プーチン大統領と結婚していた元妻のリュドミラさんは、今のプーチン大統領について本物そっくりだが別人だと証言しているという。

また、フランスのマクロン大統領は、プーチン大統領と3年ぶりに会談した2022年に、3年前にあったプーチン大統領とは別人のようだったと感想を述べているが、真相は不明である。



<https://bakushin-father.com/putin-substitute/>

今日、人間の認知機能に影響を与える情報戦が盛んである。影武者か替え玉かの判定は困難である。しかし、写真は真実を伝えていていると思込んでいる人は、画像を十分注意して検討してみるのも一興であろう。